

今週のフレーズ&ワード

food for thought

～考えさせられること、考える糧～

セミナーの主目的は、専門家の話を聞いて知識を習得することですが、日本と外国では、ネットワーキング（人脈作り）に対する意識が違ふと感じます。日本では、セミナー後に立食パーティなどでもない限り、セミナーに人脈作りの場という雰囲気はまずありません。一方、外国でセミナーに参加すると、休憩時間に知らない人に話しかけられたり、見知らぬ隣の席の人と話したりといったことも少なくありません。内外を問わず、外国人を見つけたら、積極的に話しかけるよう心がけてみてはいかがでしょうか。意外な縁が生まれるかもしれません。

In particular, the morning session contained much **food for thought**.

とくに、午前の部は考えさせられることがたくさんありました。

food for thought（考えさせられること）というフレーズです。「考えるための食べ物」、つまり「考えるきっかけとなる材料・要素」という意味で使われます。mental stimulation（精神的な刺激）を生むな「考えるネタ」ということですね。

また、food for thoughtには、結論を急ぐのではなく、時間をかけてじっくり真剣に考え

Their comments about marine resources conservation gave us

healthy **food for thought** and reflection.

海洋資源保全に関する彼らのコメントは、健全な意味での考える糧と

振り返りの機会を与えてくれました。

るような材料というニュアンスがあります。

同様の用法で、何かが考えるきっかけを与える、というときにぴったりです。healthyは「健全な」という形容詞。reflectionは「反射、反響」ですが、ビジネスの文脈では自己評価、自己再確認、内省といった「振り返り」の意味でよく使われます。

I'm sending this material to give you food for thought before the next meeting.

この資料を、次回のミーティングの前に検討材料として送ります。

ミーティング前に資料を読んでじっくり考えて来てほしいときに使える文です。アイデアを出し合うブレインストーミング中にも Here's some food for thought.（ちょっと考えてみてください）などといって問題を提起することがあります。

単語・熟語チェック

resources 資源

conservation 保全

reflection 振り返り

material 資料